

核医学診療科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] Ablation*1 目的に I-131 内用療法*2 を予定された甲状腺癌患者の転移検索の臨床的重要性

*1 I-131 内用療法のうち、甲状腺癌に対する甲状腺全摘術の後、微小に残存している甲状腺組織を放射線で焼灼(Ablation)し、再発率を下げる事を言います。

*2 ヨード放射性同位元素である I-131 を内服して行う治療で、上記の Ablation 以外に、甲状腺癌残存・転移病変への治療、甲状腺機能亢進症に対しても行われています。

[研究機関] 北海道大学病院核医学診療科

[研究責任者] 志賀 哲 （核医学診療科・准教授）

[研究の目的]

当科で Ablation 目的の I-131 内用療法を予定された甲状腺癌患者さんを対象に、I-131 療法を行う前の残存・転移病変検索のための検査の重要性について、調査を行います。この研究の結果を元に、今後より良い治療を行えるように検討をしていきます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2004年1月から2014年9月までの間に北海道大学病院核医学診療科に Ablation の I-131 内用療法目的で当科外来に紹介された甲状腺分化癌の方。

●利用するカルテ情報

①年齢、性別、病理診断(病期)

②病歴情報

③I-131 治療内容

④I-131 治療後シンチグラフィ

⑤FDG-PET

⑥頸部エコー検査

⑦採血結果項目(血液学的検査、生化学検査、血清サイログロブリン、血清抗サイログロブリン抗体、血清 TSH)

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院核医学診療科 担当医師 志賀 哲、岡本 祥三、内山 裕子

電話 011-706-5776(核医学診療科外来)